

## 1ch FFT プロジェクト作成手順書

Ver.1



1

## 本手順書の内容

1. Repolyzer(XN-8100)の起動
2. ORFファイルの選択
3. コンフィグボード(解析条件)の設定
  1. 校正
  2. 周波数レンジ設定
  3. 周波数分解能(ライン数)の設定
  4. 平均化の設定
4. グラフ表示
5. ツールパレット表示
  1. 波形ビューア(オプション XN-0850)
  2. ステータスマニタ
6. 計測
7. プロジェクトの保存

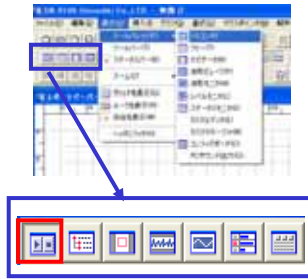


2

## 1. Repolyzer(XN-8100)の起動及びリモコンパレット表示



デスクトップ上の左のアイコンをダブルクリックして、Repolyzer (XN-8100)を起動してください。



リモコンパレットツールボタン

リモコンパレット(下図)の表示

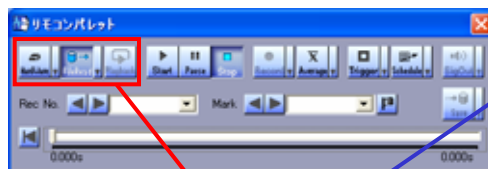
左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。



リモコンパレット

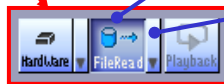


## 2. ORFファイルの選択



リモコンパレット

リモコンパレットのFileReadボタンを押す



FileReadボタンの右側の細ボタンを押して、ファイル選択ダイアログを開く



“**デモ信号.ORF**”を選択する。

注: “Repolyzerサンプルデータ”フォルダは、RepolyzerインストールCDから、Repolyzerをお使いになるPCにコピーしておいて下さい。

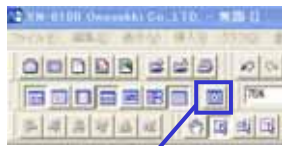


### 3. コンフィグボード(解析条件)の設定



コンフィグボードとチャンネルパレット  
(下図)の表示

左図のメニューまたは、ツールボタ  
ンで、表示できます。



コンフィグボードツールボタン



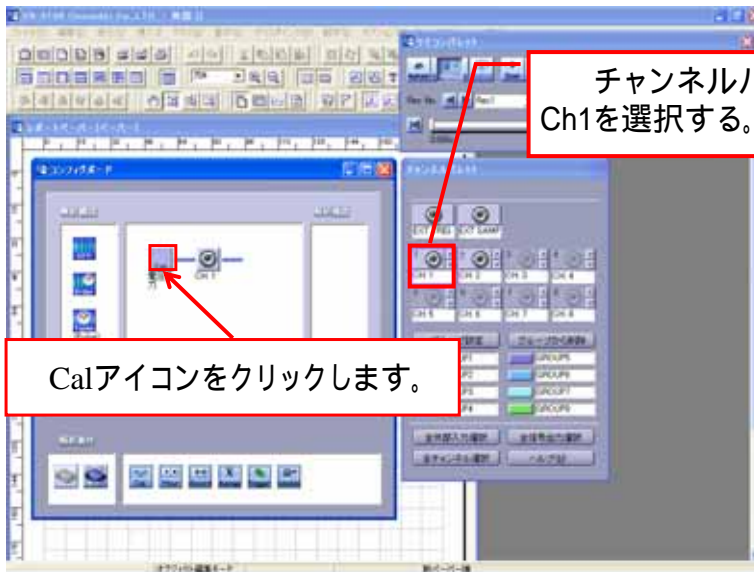
コンフィグボード



チャンネルパレット



### 3. コンフィグボード(解析条件)の設定 :校正



Calアイコンをクリックします。

チャンネルパレットで  
Ch1を選択する。



3. コンフィグボード(解析条件)の設定 :校正

校正ダイアログが表示されます。

校正を無効にするチェックボックスのチェックをオフする。オンの場合は、ORFファイルの校正値を使用します。

7

3. コンフィグボード(解析条件)の設定 :校正

DBから読み込みボタンを押すと、下記のデータベース表示になります。クリックして選択して、データを読み込むことができます。

12番目のLA-1210を選択して、**読み込み**をクリックして下さいデータベースが表示されない場合は、デフォルトに戻すボタンをクリックして下さい。

No.	機種名	メーカー名	型番	校正済み
1	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
2	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
3	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
4	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
5	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
6	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
7	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
8	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
9	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
10	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
11	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
12	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
13	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
14	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
15	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
16	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
17	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
18	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
19	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
20	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
21	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
22	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
23	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
24	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
25	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
26	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
27	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
28	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
29	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
30	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
31	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
32	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
33	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
34	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
35	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
36	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
37	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
38	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
39	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
40	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
41	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
42	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
43	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
44	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
45	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
46	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
47	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
48	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
49	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み
50	マイク	ONO SOKKI	98-1101-460-0	校正済み

8

### 3. コンフィグボード(解析条件)の設定 :校正

Calアイコンが色が付いて、下に騒音計と表示される

騒音計 CH.1

Repolyzer

9

### 3. コンフィグボード(解析条件)の設定 :周波数レンジ・分解能

FFTをコンフィグボードの中央部にドラッグします。

チャンネルパレットでCh1を選択する。

Repolyzer

10

### 3. コンフィグボード(解析条件)の設定 : 周波数レンジ・分解能

設定ダイアログが開きます。

周波数レンジを次数レンジを“2kHz(5.12kHz)”であることを確認します。  
周波数分解能を“5Hz(400Line)”に変更します。

OKをクリックします。

Repolyzer

11

### 3. コンフィグボード(解析条件)の設定 : 平均化

Averageボタンをクリックします。  
設定ダイアログが開きます。

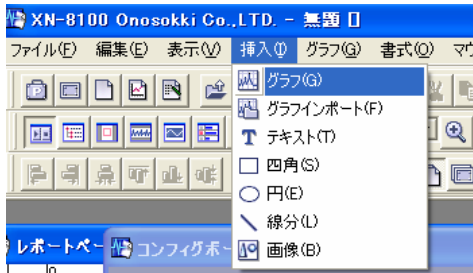
今回の例では、平均化を行わないので、OKボタンをクリックしてください。

Repolyzer

12



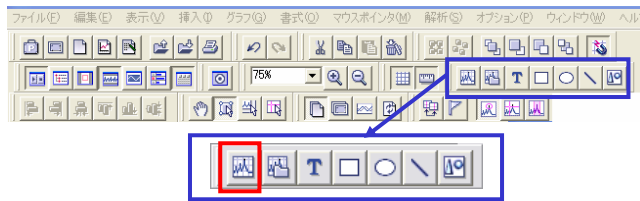
### 4. グラフ表示



グラフの表示は、レポートペーパーに、グラフオブジェクトを配置する事で実現します。

左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。

また、グラフ以外の四角や、画像もオブジェクトとして、レポートペーパーに配置できます。

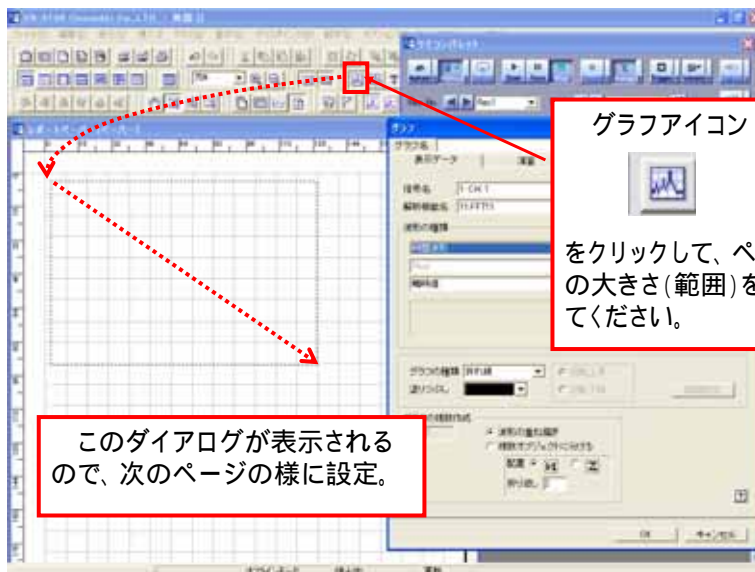


オブジェクト挿入ツールボタン

(左から、グラフ、ファイルデータ、テキスト、四角、円、線分、画像)



### 4. グラフ表示



グラフアイコン

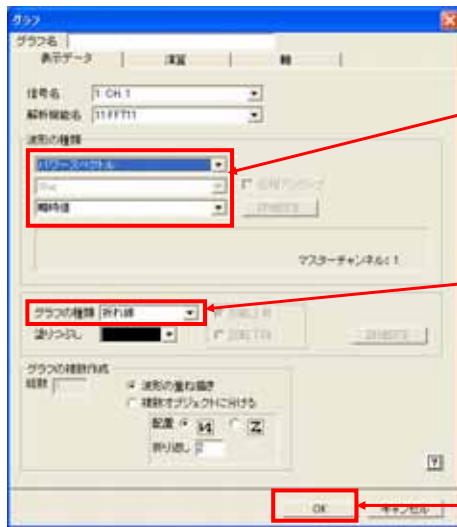


をクリックして、ペーパー上でグラフの大きさ(範囲)をドラッグで指定してください。

このダイアログが表示されるので、次のページのように設定。



4. グラフ表示



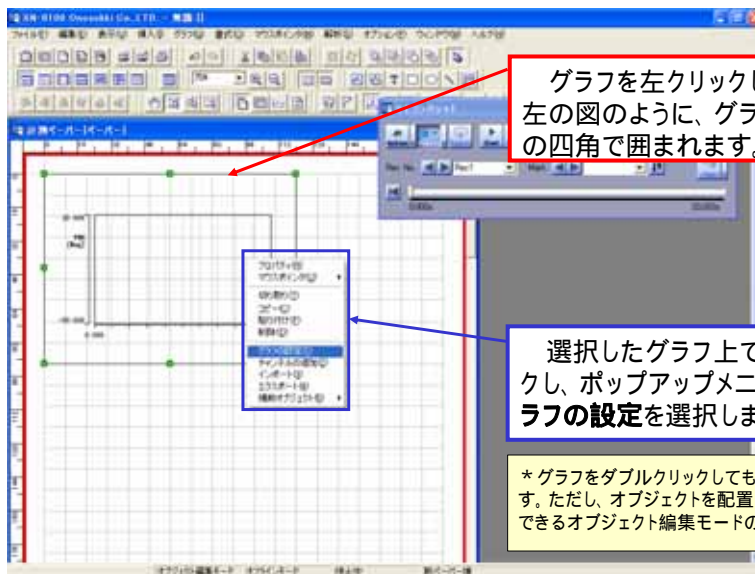
波形の種類は、**パワースペクトル**  
**瞬時値**  
を選択します。

グラフの種類は、デフォルト(折れ線)とします。

OKボタンをクリックします。



4. グラフ表示



グラフを左クリックして選択します。  
左の図のように、グラフの周囲が緑色の  
四角で囲まれます。

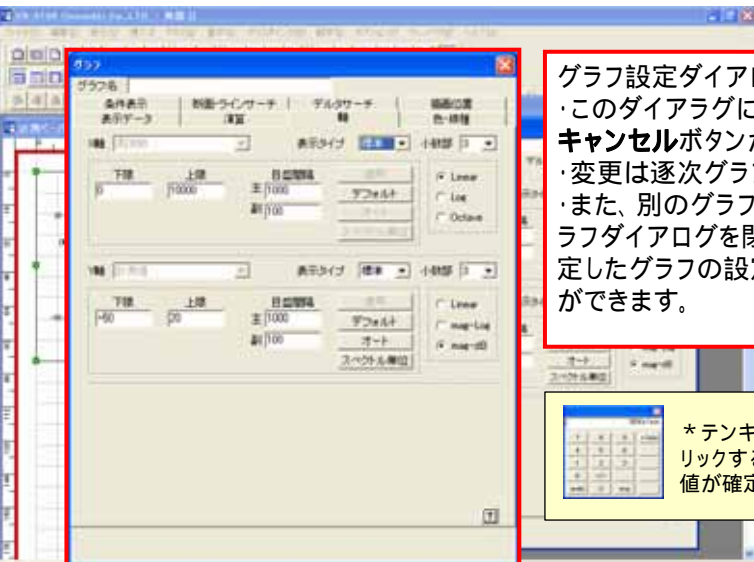
選択したグラフ上で、右クリッ  
クし、ポップアップメニューから**グ  
ラフの設定**を選択します。

\* グラフをダブルクリックしても開くことができません。ただし、オブジェクトを配置したり移動したりできるオブジェクト編集モードの場合。






### 4. グラフ表示



**グラフ設定ダイアログ**

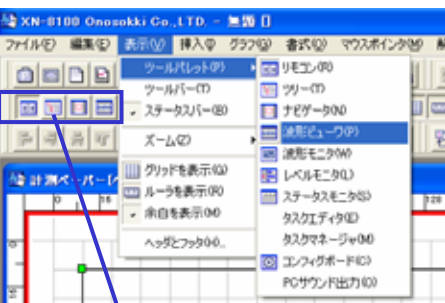
- ・このダイアログには、OKおよび**キャンセル**ボタンがありません。
- ・変更は逐次グラフに反映されます。
- ・また、別のグラフを選択すると、グラフダイアログを閉じることなく、指定したグラフの設定を変更することができます。

\*テンキーは、別の項目をクリックするか、適用ボタンで数値が確定します。




17

### 5. ツールパレット表示 : 波形ビューワ



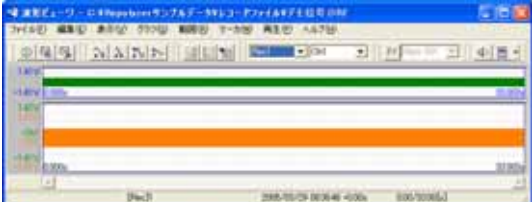

**波形ビューワ (下図) の表示**

左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。



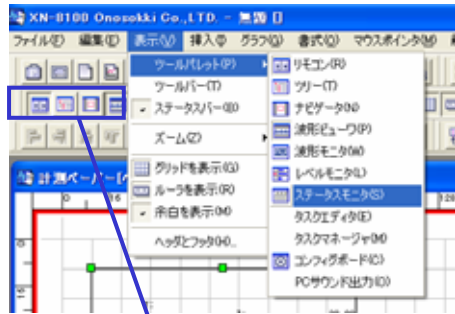
波形ビューワツールボタン

波形ビューワ(XN-0850 オプション)

18

### 5. ツールパレット表示 : ステータスマニタ



ステータスマニタ(下図)の表示  
左図のメニューまたは、ツールボタンで  
表示できます。



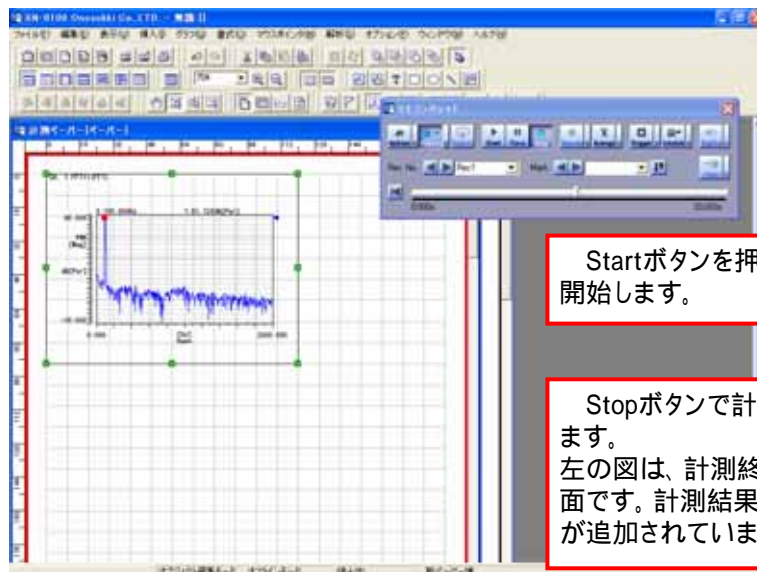
ステータスマニタツールボタン



ステータスマニタ



### 6. 計測

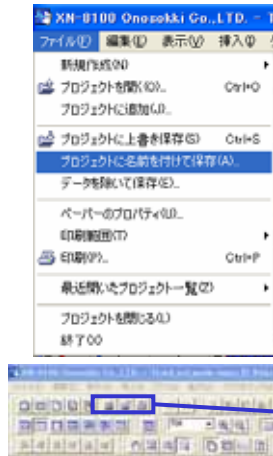


Startボタンを押して計測を  
開始します。

Stopボタンで計測を終了し  
ます。  
左の図は、計測終了後の画  
面です。計測結果のペー  
パーが追加されています。



## 7. プロジェクトへの保存



測定条件、レポートペーパーレイアウト、データを一括してプロジェクト(\*.xnprj)に保存が可能です。

左図のメニューまたは、下図ツールボタンでプロジェクトの保存できます。



プロジェクト保存  
ツールボタン